

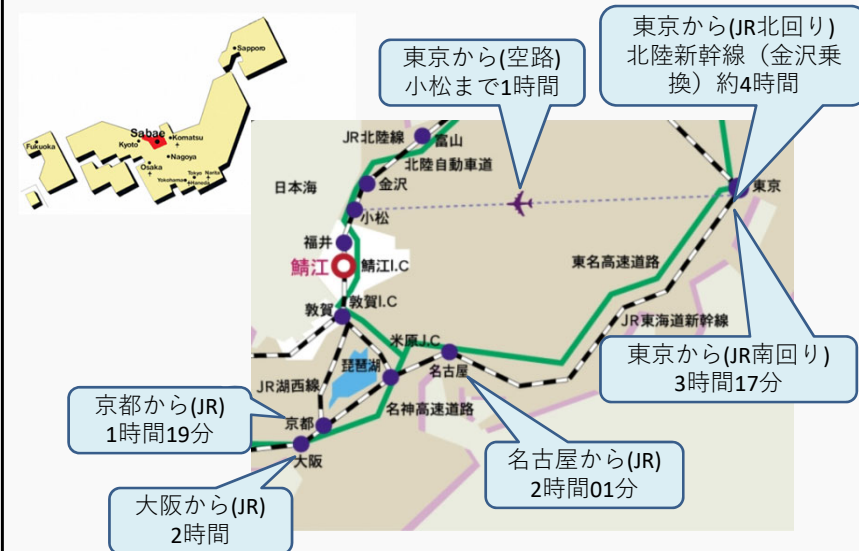
1. 地域の特徴

眼鏡、繊維、漆器を三大地場産業とするものづくりのまちで、昔から家族経営が多いことから、女性が働きやすく社会参加しやすい風土が育まれ、特に20代から40代前半にかけての女性の就業率が高い。

意思決定の場（市議会議員、管理職等）や町内会組織での役員等に女性が少ない。

人口減少時代において、家庭、職場、地域におけるジェンダー平等の実現により、「持続可能なめがねのまちさばえ」を目指す。

2018ニューヨーク国連本部で開催した「SDGs推進会議」に鯖江市長が出席し、女性が大きな役割を果たしてきた地場産業発展の歴史やまちづくりに女子高生らが参加する「鯖江市役所JK課」の取組など、本市の女性活躍をテーマに演説した。



2. 応募のきっかけ

ものづくりのまちの地域の特性上、女性活躍の土壌がある鯖江市では、女性のエンパワメントを引き出し、地域のエンパワメントにつなげ、雇用の創出、質の高い女性活躍の場、循環型社会の構築など、経済、社会、環境の3側面にもつながる取り組みとし、国内外に向けて「ロールモデル」として本市取組を発信していきたい。また、すべての人に関係するSDGsの取り組みを通して、本市固有の資源を最大限に活用することにより、地域ブランド力が高まり、魅力ある雇用が生まれ、若者が住みたくなる・住み続けたくなる「持続可能なめがねのまちさばえ」の実現を目指す。

〈R2国勢調査〉鯖江市の女性の就業率(59.1%)・共働率(61.2%)とも県内1位、福井県は就業率(55.6%)で全国2位・共働率(58.6%)全国1位

3. 取組の内容と成果

持続可能なめがねのまちさばえ～ジェンダー平等こそが輝く未来への鍵～
(2022～2024)

◆2030年のあるべき姿

市固有の資源を最大限に活用し、地域ブランド力、魅力ある雇用、若者が住み、住み続けたくなるまちづくりを実現。また、市が将来にわたり成長力を保つため、経済界、市民、大学等が「Well-Being」という考えのもと、協働で経済・社会・環境の広範な課題に統合的に取り組み、特に性別、年代に関係なく全分野で能力が生かされた環境のもと、「育てやすい、暮らしやすいまち」、「みんなが輝く、市民活躍のまち」として、持続可能な地域社会の構築に貢献している。

◆あるべき姿実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

〈経済〉

地場産業の縮小は若者・女性の地方離れの原因の一つ

▶女性起業家育成、サテライトオフィス誘致、成長分野の海外販路開拓

〈社会〉

若者・女性の柔軟な発想や創造力を活かし、次世代を担う人材を育成

全市民が居場所と役割をもち自分らしく生きる社会を

▶移住相談、まちづくりの提案事業、性別記載欄削除・見直し

〈環境〉

市民・企業・学校が連携し、ごみ減量・再資源化を推進

ものづくりのまちとして、アップサイクル

サーキュラーエコノミーを推進し、脱炭素循環型社会を目指す

自然環境に配慮した行動のできる人材育成、安全安心なまちづくり

▶ごみ排出削減・資源化、空き家利活用、公園里親登録

目標5はSDGs全17の目標の鍵



「ジェンダー平等こそが輝く未来への鍵」

※9 メイドインサバエ「グローバル」

SDGsをより多くの人々に知ってもらうためにコンセプトメガネとしてメイドインサバエ「グローバル」を作成。このメガネのデザインは、SDGsの17目標を左右各8目標に分け、これらの目標をつなぐブリッジは目標5の「ジェンダー平等実現」であった。このメガネのコンセプトは、一つのレンズで世界の動きを捉え、そしてもう一つのレンズで地域を考え行動する、「Think globally! Act locally!」である。



3. 取組の内容と成果

自治体SDGsの推進に資する取組

- ①SDGsの普及啓発とパートナーシップの確立
SDGs達成に向け、啓発やPRで、SDGs認知度、市民理解、企業理解を深め、「自分ごととして行動する」機運を醸成
▶本市のSDGs推進のハブ的拠点施設『さばえSDGs推進センター（R2.9.12OPEN）』を中心に、産官学民が連携、様々な施策を展開、取組は国内外に発信（次頁詳細）
- ②誰もが輝くまち鯖江の推進
ジェンダー平等の実現はSDGs17の目標達成の礎、誰もがいきいきとエンパワーメントを発揮できる環境を作る
特に女性の活躍推進事業が好循環を生み、ロールモデルとして横展開、活発化することで、男女共同参画社会が確立、若者がまちづくりに参加し活気づくことで多様なステークホルダーが集まり、新たに展開していく
▶さばえ38組、男女共同参画・女性活躍推進の拠点施設 夢みらい館・さばえ、ワークライフバランス
- ③健康福祉のまちづくりの推進
誰もが生涯、健やかで自立した生活を送り、いきいきと活躍できる環境づくり
高齢者や障がい者など誰もが地域で安心して暮らし、地域住民が主体となりお互い支えあえるまちづくりを推進
▶いきがい講座、高年大学
- ④鯖江モデル教育の推進
地域の歴史や文化を学び、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、2030社会の担い手となる子どもたちにSDGs学習を取り入れ、身近なところから考えるきっかけを作ることで、持続可能な社会を築く子供たちを育成
▶こどもエコクラブ、産業体験学習、ふるさと学習、SDGs推進事業
- ⑤環境にやさしいまちづくりの推進
市民、団体、事業者、行政が二酸化炭素削減に向けたまちづくりをともに考えることで、地球温暖化防止対策を推進
▶廃棄物分別、ごみ減量、資源化

3. 取組の内容と成果 さばえSDGs推進センターを中心とした取り組み

- ◆R2.9.12 さばえSDGs推進センターOPEN
国内外のSDGsに関する情報収集・情報発信
講演会、セミナー、研修・視察受入、企業等からの相談
ステークホルダーによる連携・活動の「場」
国連APとつながりのあるSDGsセンターは鯖江市が最初、現在は江戸川区と2ヶ所

【R4】

来館者 4,053人/ 開館日数 270日
企画展 8回 / 情報発信（英訳付）424回
出前講座46回2,042人 / 団体見学37回 823人
主催事業17回125人（SDGsシネマシア、BOOKカフェ、SDGsカードゲーム、
北陸電力とのコラボ環境講座）

- ▶R3.2～ さばえグローバルクラブ
R5.7現在 126社・団体登録 発信21件（R4）
市のSDGs推進に賛同する企業、学校、団体同士の連携や交流の促進が目的

- ▶R4.4～ さばえSDGs部 R5.7現在 部員38人（中学生から社会人まで）
SDGsに取り組みたい学生のプラットフォーム センターを中心に活動

- ▶地域おこし協力隊のカナダ出身女性がセンターを拠点として活動、海外の視点から見たジェンダー平等についての研修会や、SNSを活用した本市取組を英訳付で発信



3. 取組の内容と成果 さばえSDGs推進センターを中心とした取り組み

◆3.8国際女性デー関連イベント

めがねはメッセージだ！ オレンジめがねキャンペーン

▶ 国連の友AP、日眼連、県眼鏡協会と、「ジェンダー平等」の意義と重要性を国内外にPR
国際女性デーと『国際女性ウィーク2023』の開催2023 3/6～3/11

▶ ジェンダー平等とLGBTQ+講座、さばえSDGsCINEMAシェア、エンゲージカードゲーム、
明治大学連携ジェンダーがもたらす新たな社会像、令和版子育てシンポジウム

◆めがねのまちさばえSDGsフェス・めがねフェスに合わせて同エリアで開催し相乗効果を狙う
2022『行動するって、楽しい！』 行動の10年を意識した行動の可視化 5,200人來場
2023『Take Action SABAE ひと、まち、日本を元気に』 若者・シティプロモーション

◆男女共同参画・女性活躍推進の拠点施設 夢みらい館・さばえ

▶ 女性の福祉増進・男女共同参画推進事業、世代間交流事業、男女共同参画啓発事業ほか 776名参加 (R4)

◆さばえ38組 35人

▶ 女性活躍を推進する経営者の会。企業リーダーの意識改革と女性活躍の取り組みの輪を市全体に広げることが目的



4. 選定されてよかったこと

SDGs普及啓発・相談の「場」としてのSDGs推進センター開設

▶市内全小学校を対象に講座開催 / 企業からのSDGs取組相談

市内企業、市民の関心・意識の変化

未来都市のブランド力による市内外および海外からの視察、問い合わせに加え、メディアにも多数取り上げられた

▶R5.2.2 カンボジア副知事4人+NGO代表など計11名がセンター来所。鯖江市のジェンダー平等の取組みを視察（写真→）

地場産業への影響 製品化

▶津田塾大学との連携から生まれた『YOKA』ほか

国連とのつながりによる国内外への発信力強化

▶国連の女性問題の第一人者であるチャウドリー大使がセンターの名誉顧問に就任 / 国連推進会議で取組報告、英訳付SNS発信



5. 困難やつまづきなど苦労したこと及びそれをどのように克服したか

▶SDGsという言葉が世間に浸透した（アンケート実施「SDGsの理解度」知っている・少しは知っている・聞いたことはある 2019 33%→2021 97%）が、どこに行ってもSDGsといった倦怠感も →SDGsは「自分ごと」、この「行動の10年」は取り組みの加速が必要であることを講座や広報などで繰り返し伝えている

▶コロナ禍での取り組み停滞（37日間センター閉館 土日祝13日含）開館時は感染防止対策を講じ、小規模イベントを開催

▶日本ならではのジェンダーギャップの根深さ、文化・歴史 →TV番組でジェンダー平等の取組についてお話したところ、苦情の電話をいただいた

▶さばえグローバルクラブの活動について、企業・団体同士の横展開が出来ていない

▶国連APとの連携により、アドバイザーとして国内外の現状等のレクチャーや、様々な企画提案をいただいている

6. 今後の展開

SDGsは、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に取り組むもので、将来的な人口減少が続く中、本市が目指す持続可能なまちづくりや地域活性化にあたり、政策全体の最適化や地域課題解決の加速化という相乗効果が期待できる。SDGs展開のためには行政だけでなく、あらゆるステークホルダーとの連携が重要で、本市のハブ的拠点施設『さばえSDGs推進センター』のさらなる発信力強化や利用促進・活性化をはかるとともに、今後もさばえSDGs推進センターを中心に、男女共同参画・女性活躍推進施設「夢みらい館・さばえ」と連携し、あらゆる人々やステークホルダーとともに、ジェンダー平等の実現を軸とした「居場所・出番」づくりを創出していく。こうした環境下で、地域特性を活かした女性のエンパワーメントを生み、性差や世代に関係ないすべての人々、地域のエンパワーメントにつなげ、誰もが意思決定への参加ができ、リーダーシップの機会が生まれるよう拡大を図っていく。

7. 他地域への展開等

市民との協働や学生との連携など、若者や女性など市民の活躍によって課題解決を目指すことは、他地域でも展開可

- ▶SDGs部は、どこの自治体でも可能。JK課の実績あり

ジェンダーの取り組みについて講演依頼（妙高市：一般市民対象、軽井沢町：中学生対象）
関東圏のホテルから、視察のためセンター来所
共催で『気候変動アート展』開催（株）メンバーズ 関東圏一部上場企業（2018サテライトオフィスを誘致した企業）
県内大学と連携し、ふくいSDGsアワード開催
大手旅行者企画に選ばれ、首都圏中高生対象の教育旅行で来鯖（2年連続）

- ▶若者との交流 地元高校生JK課（現在32人OG23人）

県内大学での出前講座開催 / 国連APと地元高校生との対談 / JICAオンライン研修 / 市外商工会議所・企業向け出前講座

8. その他

福井県鯖江市 女性が輝く「めがねのまちさばえ」～女性のエンパワーメントが地域をエンパワーメントする～

女性のエンパワーメントを生み出すために、居場所と出番の創出および障害となるインポスター症候群等の研究・対策に取り組む。鯖江市の女性活躍推進施設である「夢みらい館・さばえ」の一部を活動拠点とし、様々なステークホルダーの活動や情報交換を支援するとともに、国内外に向けて鯖江市の取り組み状況を発信することで横展開も促進。

<取組課題>
地場産業の縮小・雇用のミスマッチ

経済

雇用創出
人材育成
シェアリング

- 魅力ある雇用の創出
- 教育大綱によるIT人材育成
- シェアリングエコノミーの活用

<取組課題>
若者の県外流出、女性活躍の障害

社会

市民参加
女性活躍
人材育成
シェアリング
普及啓発

- 協働のまちづくり
- 女性が輝くまちの推進
- 教育大綱によるSDGs推進
- シェアリングエコノミーの活用
- SDGsの普及啓発

三側面をつなぐ統合的取組

女性活躍プラットフォーム創出事業

雇用啓発
女性活躍総合イベント
全国産校生まちづくりサミット
女性「活躍満足度」調査

環境へ配慮した活動拠点整備
ステークホルダーの活動や情報交換の場
国際女性活躍員利便の機能化

世界発信
国連ハイレベル政治フォーラムでの発信
国際的な女性会議へ参加

女性のエンパワーメントを引き出す

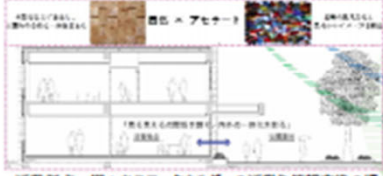
<取組課題>
ごみ排出量の増加、空き家の増加

環境

循環型社会
人材育成

- 循環型社会の構築
- 環境に配慮した人材育成

活動拠点：様々なステークホルダーの活動や情報交換の場






鯖江市男女共同参画推進拠点施設 夢みらい館・さばえ

夢みらい館・さばえの指定管理者「夢みらいWe」は、男女共同参画、ジェンダー平等、女性活躍、SDGsの推進に努めています。また、ふくいSDGsパートナーシップに登録しています。

男女が共に認め合い、協力し合える社会を目指します
「夢みらい館・さばえ」では、男女が性別にとられず、お互いに語り合い、認め合い、支え合いながら、自分らしく一人一人が生き生きと暮らせる「男女共同参画のまちづくり」を進めています。

所在地 三六町1丁目4-20
開館時間 8:30～22:00
休館日 火曜日(第1・3週は日曜日)
祝日、年末年始
問合せ ☎ 51-1722
✉ yumemirai@wt.ttn.ne.jp

8. その他

鯖江でがんばる あの人の 笑顔と素顔 vol.1



さばえSDGs部 部長
かねこ ひなみ
金子 日菜実 さん

仁愛大学2年。マイブームはフィルムカメラで景色などを撮影すること。お気に入りの洋服のグッズ。大学では学内イベントの企画や運営をする「学友会」にも所属し、活躍の幅を広げている。

ことじやもう動じない

大学進学直後の昨春に発足した「さばえSDGs部」にすぐに申し込み、部長に立候補。小学生を含めた第1期のメンバー15人を引っ張り、SDGsの大切さを若い世代に伝えるための紙芝居などを作った。

部長が38人に増えた今年は、秋の一大イベント「SDGs フェス」を盛り上げるため、使い古した傘で会場を彩る企画や眼鏡の腐材を生かしたアクセサリーづくりなどを進めている。

「自分がない発想や着眼点を得られるのもSDGs部ならではの。私たちの活動で鯖江の魅力を広められたらうれしい。自身を育み、自らを変えるきっかけをくれたふるさとへの親しみと情熱を胸に、19歳の挑戦はこれからも続く。

大好きな鯖江、私たちが面白く

持続可能な未来に向け、若者の感性を生かして活動する「さばえSDGs部」の部長を務める金子日菜実さん。「学びながら実践的な活動ができるのが部の魅力。学校も学年も違うメンバーと大好きな鯖江を面白くしたい」。その声は明るく、力強い。

元々は極度の人見知りだった。人前で話そうとすると顔が赤くなり、声が小さくなってしまふ。「クラス内での発表も苦手、当てられないように顔を背けていたくらいです」

転機が訪れたのは高校3年だった2021年夏。自分を変えたいと「高校生版 鯖江市地域活性化プランコンテスト」に参加したことだった。県内から集まった高校生たちがグループを組み、鯖江を面白くするアイデアを自由に考えて発表し合う。「市長をやりませんか？」のキャッチコピーで知られるコンテストの高校生版だ。

自身のチームは若者世代の活躍を促すプランを考えた。しかも、それを人気お笑いコンビに扮して漫才で発表する。発表前は緊張で震えたが、「中途半端にやったら面白くない」と自分を捨てた。他校の3年生を「相力」に、聞きかじりの関西弁で繰り出すボケとツッコミ。真剣にやればやるほど観客は沸き、やがて会場で笑い声が包んだ。発表が終わると、恥ずかしがり屋だった自分はどこかへ消えていた。「大きな山を越えた。ちょっとやそっとの



さばえSDGs部第2期のメンバー（5月撮影）

福井県の学生の皆さん、あつまれ!!
SDGsに取り組んでみませんか?

Study, Do, Grow!

さばえSDGs部

「SDGsについてもっと知りたい!何かしてみたい!」そんなあなた、
『さばえSDGs部』に参加して、学生のためのSDGsプラットフォーム
の一員になってみませんか?

「さばえSDGs部」とは?

STUDY 研究	DO 実行	GROW 成長
SDGsを学び、まちや社会の問題について考えよう	みんなでアクションを起こそう!	経験を生かし、次の目的を定めよう
SDGsはどういう目標?何のためにあるのか?私たちの生活にどう関係しているのか?そんなことについて考え、部員にできることを見つけよう。	理想の社会は部員でつくる!やりたいことを決め、実行するのみ!SDGs関連のイベントに参加したり、他の学生団体と交流することで楽しくSDGsを進めよう。	地域を育て、部員も育つ。活動経験を重ね、SDGs達成に貢献しながら部員も成長していく。そんな好循環で部員はさらにSDGsへの理解を深め、次の目標を見極めて行動を続ける。

4月から活動できる2期生大募集!!

活動拠点: さばえSDGs推進センター (めがね会館9F)

活動日: 月に1回(日程不定期)

活動内容: 勉強会、関連イベント参加、他団体と連携・交流などなど!! (詳細はホームページ)

お申込先・お問合せ先: さばえSDGs推進センター
担当: 川口サマンサ (鯖江市地域おこし協力隊)
MAIL: SabaeSDGsBu@gmail.com

さばえSDGs推進センター
Resource Center for Implementation of the SDGs in SABAE